

播磨沿岸

播磨沿岸は、明石海峡より西側の明石市から赤穂市までの約280kmにまたがる沿岸です。

沿岸東部には、東播磨港、姫路港を中心とした、播磨臨海工業地帯が形成され、製紙・紡績・造船・製鉄・機械等めざましい進展を続けています。また、背後には人口・資産が集中しており、海岸線防護の必要性は非常に高い地区となっています。

一方、西部は、瀬戸内海国立公園の一角を占め、瀬戸内海の温暖な気候、変化に富んだ美しい自然海岸、多くの島々のおりなす風光明媚な自然景観とに恵まれ、都市部からも近いことから海水浴、釣り、マリンスポーツなどの海洋性レクリエーションが広く行われています。また、古い町並みや史跡などの地域固有の歴史が今も息づいた、文化の香り高い地域を形成しており観光レクリエーションとしての要素が豊富です。



赤穂海浜公園 (赤穂市)



相生ペーロン祭り (相生市)

中部地域

東播磨臨海工業地帯として発展している中部地域では、主に姫路港において海岸保全施設の整備を推進し、防災機能の強化・充実を図っています。



姫路港的形海岸 (姫路市)

西部地域

豊かな自然に恵まれた西部地域では、相生港において、地域の活性化をめざしたマリンタウンプロジェクトの一環として、海岸の整備においても護岸の改良を図り、地域のコミュニティの場を創出します。また、瀬戸内海国立公園内に位置し風光明媚な景観を有する坂越港では、「ふるさと海岸整備事業」により防災面での安全性の確保とともに、快適で、潤いのある海岸環境の創出を図っています。



相生港海岸 (相生市)



整備中の坂越港海岸整備事業 (赤穂市)